

慢性の痛みでお困りの方へ…

脊髄電気刺激療法

で過ごしやすくなる場合があります

腰椎症・頸椎症など整形外科的な痛み、糖尿病性神経障害による痛み、脚の動脈硬化による痛みなど、慢性の痛みで悩まれている人は少なくありません。痛みが著しい場合や常に痛む場合には社会生活や日常生活の質が大きく損なわれます。痛みの治療は、理学療法、薬物療法、神経ブロックが主ですが、近年は**脊髄電気刺激療法**が痛みを和らげる方法として注目されています（保険収載された治療です）。特に神経の異常により起きる痛み（神経障害性疼痛）や末梢血管障害による痛みに対して有効率が高く、このようなケースでは疼痛緩和の選択肢の1つとしてご提案できます。脊髄電気刺激療法は、専用の刺激装置により脊髄の背側を電気刺激することで痛みが和らいで感じられるというものです。



実際には背骨の中に直径 1mm 強のリード電極を1～2本挿入し、刺激装置を皮下に埋め込んで実施します。ただし、脊髄電気刺激が無効の方が一定数おられますので、埋め込みする前に試験刺激を行って有効性を確認することをお勧めします。（試験刺激は約 10 日間の入院で、実際に電極を背骨の中において体外の刺激装置で継続的に刺激します。）痛みが半減するかが目安となります。電極はいったん抜去して退院いただきます。埋め込みを希望される場合はあらかじめ手術日程を調整します。

脊髄刺激療法は脳神経外科の北条 雅人・中江 卓郎が担当します。お気軽にお問い合わせください。

滋賀県立総合病院 脳神経外科

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
(TEL 077-582-5031)



このような痛みで脊髄電気刺激療法の有効例が報告されています…

- ◎ 腰椎症や頸椎症による痛み
- ◎ ASO（閉塞性動脈硬化症）による痛み
- CRPS（複合性局所疼痛症候群）
- 帯状疱疹後神経痛
- ◎ 脊椎手術後に残る / 悪化する痛み
- ◎ 末梢神経障害による痛み（腕神経叢損傷など）
- 糖尿病性ニューロパシーによる痛み
- △ 脳卒中後疼痛
- △ 脊髄損傷後疼痛

このような痛みは脊髄電気刺激では対応困難と報告されています…

- ▼ 神経根引き抜き損傷
- ▼ 脊髄断裂
- ▼ 侵害受容性疼痛（外傷による急性痛など）